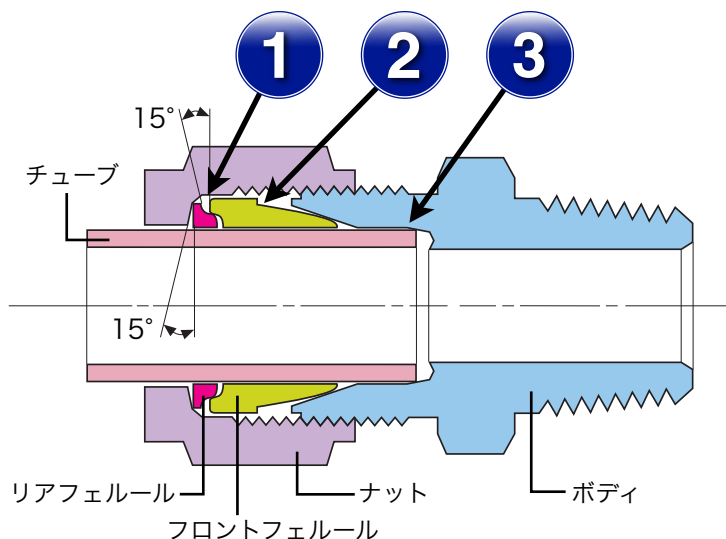


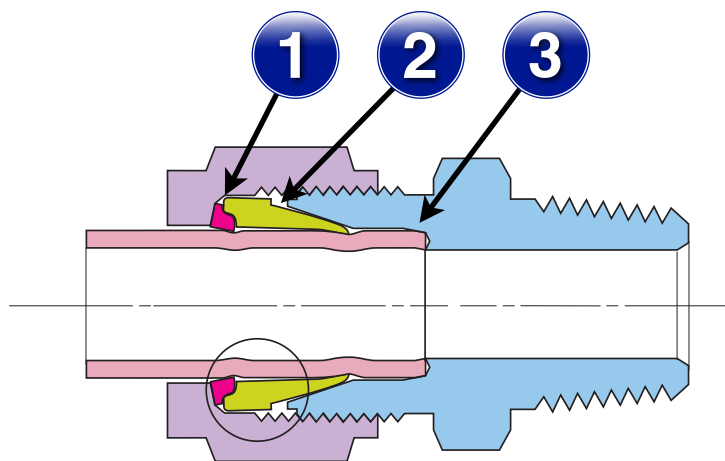
ここが違う Gyrolok継手

チューブ継手はどれも同じではありません。
取り扱いに慣れていない方の最も多い失敗は、
**ナットの締め付け過ぎによる
チューブや継手の変形です。**

**HOKE社製Gyrolok継手はどなたでも簡単に
使えるように工夫がされています。**



締め付け前（手締め）



締め付け後

- 1 両フェルールに付けられた15度のテーパが締め付け時に密着し、過度の締め付けを防止します。
- 2 フロントフェルールに設けられた肩当たりがボディと接すると、それ以上の締め付けを防止します。
- 3 ボディに設けられたテーパが手締め時に適度な隙間を生み出し、締め付け時にボディとの過剰接触を防ぎ、チューブの変形を防止します。